

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2023年 3月 27日

事業所名：えびす本山

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	はい…100%	はい…78% どちらともいえない…22% ・建物の構造上難しいと思いますが、工夫されているかと思います。 ・利用者の人数調整もされているかと思いますし、大丈夫かと思えます。	構造上の困難さに関してレイアウトや設備の工夫と改善をしていく。
	2 職員の適切な配置	はい…100%	はい…96% どちらともいえない…4%	職員の急な体調不良や不測の事態においては、急な対応を要するため、そのような際の想定と対応を進めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	はい…75% どちらともいえない…25% ・ドアや壁等にポップをつけている。	はい…87% どちらともいえない…13% ・バリアフリー化は建物の構造上難しいのは、理解できますが、情報伝達等の配慮はされているかと思えます。 ・階段が急ではありますが、利用する子供も気をつけて降りてますし、職員の方が見守ってくださってますので、今のところ大丈夫かと思えます。	玄関の階段、2階への階段が当事業所の最大のバリアとなっている。支援が必要な方の移動時は必ず付き添うなどの配慮が必要のため検討していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	はい…100% ・こまめな掃除を実施している。	はい…96% どちらともいえない…4%	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	はい…75% どちらともいえない…25%		毎日の振り返りや日々の業務の記録の活用方法、課題の早期解決の場や方法をつくり機能させていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	はい…75% どちらともいえない…25%		保護者アンケートは実施しているが、アンケートの回収徹底とその方法では表現しづらいニーズをいかに把握し改善につなげる
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	はい…75% どちらともいえない…25% ・適宜研修会を行っている。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	はい…100% ・個別支援計画を会議を踏まえた上で作成している。	はい…96% どちらともいえない…4%	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	はい…100%	・助かっております。これからもよろしくお願ひします。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	はい…100%		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	はい…100%	はい…96% どちらともいえない…4%	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	はい…75% どちらともいえない…25%		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	はい…100% ・曜日ごとにプログラムを分けている。	はい83% どちらともいえない…17%	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	はい…100%		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	はい…100%		
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	はい…100%			

	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	はい…100%		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	はい…100%		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	はい…100%		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	はい…50% どちらともいえない…50%		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	はい…100%		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	はい…50% どちらともいえない…50%		
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	どちらともいえない…50% いいえ…50%	はい…13% どちらともいえない…43% いいえ…44%  ・必要ないと思います ・障害のない子供達と接する機会はないが、そこまでこちらが交流を求めている。 ・すみません、わからないので「どちらともいえない」にしました。 ・このご時世なのでいろいろ難しいと思います。交流がなくとも、日々の活動にとでも満足しております。	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	はい…25% どちらともいえない…25% いいえ…50%			
保護者への説明責	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	はい…100%	はい…96% どちらともいえない…4%	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	はい…100%	はい…100%	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	はい…50% どちらともいえない…50%	はい…61% どちらともいえない…35% いいえ…4%  ・保護者会は面白かったです。上の年代のお子さんをお持ちの方のお話は将来の参考になりました。もし次の機会があるなら、同じ年頃の子の保護者さんとも話してみたいです。	保護者会やその他保護者が集まれる場を設定し、その中でご自宅とえびすで共通している部分の対応方法などをお伝えする場を設定する。 外部の研修会などを随時共有をする。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	はい…100%	はい…100%	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	はい…100%	はい…87% どちらともいえない…13%	

連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	はい…100%	はい…70% どちらともいえない…30%  ・先日開催していただきましたが、また開催していただけると嬉しいです。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	はい…100%	はい…70% どちらともいえない…30%  ・問題ないです ・いつもとてもよくして頂いて感謝しております。苦情等はありません。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	はい…100%	はい…96% どちらともいえない…4%	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	はい…25% どちらともいえない…75%	はい…83% どちらともいえない…17%	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	はい…100%	はい…100%	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	はい…100%	はい…91% どちらともいえない…9%  ・ごめんなさい、すぐに思い出せなかったので「どちらともいえない」にしました。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	はい…50% どちらともいえない…50%	はい…57% どちらともいえない…43%  ・訓練はわからない	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	はい…100%		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明…了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	はい…100%		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	はい…75% どちらともいえない…25%		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	はい…50% どちらともいえない…50%		ひやりはっとの報告書についてフォームで回答し、後日対策等検討する。 現在の報告書の概要部分のみフォームで回答できるようにする。